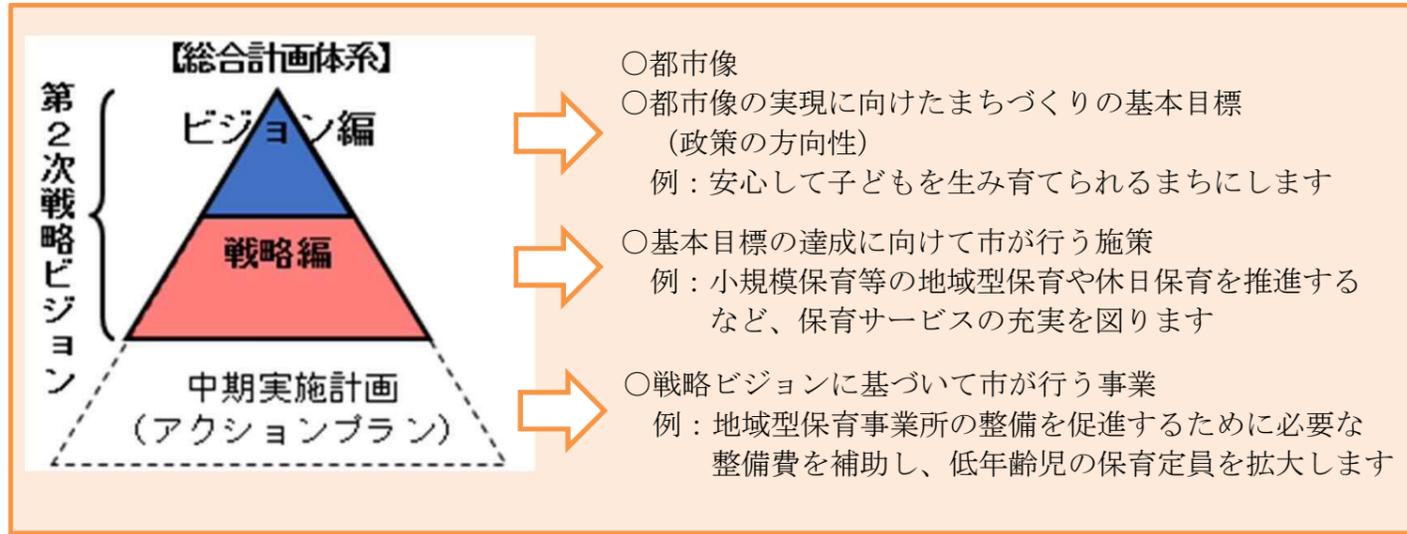


1 計画体系



2 ビジョン編の章構成（案）

第1章 はじめに
第2次戦略ビジョンの策定趣旨、位置付け、計画期間などを掲載

第2章 札幌市の現在及び将来に関する考察
歴史、強み・魅力、現戦略ビジョンに基づくまちづくりの検証、将来人口の推計、昨今の社会経済情勢の考察を掲載

策定方針や審議会における議論等を答申時にまとめる

第3章 都市像
都市像を導く考え方を掲載

.....

<都市像>
○○○○○○○○ ○○○○○○○○

本日の議題

第4章 まちづくりの基本目標
都市像の実現に向けたまちづくりの基本目標を掲載。分野ごとに構成し、基本目標とともに目指す姿、市民・企業などや行政（札幌市）が取り組むことを掲載

本日の議題
構成の詳細は右に記載

第5章 都市像の実現及びまちづくりの基本目標の達成に向けて
行政（札幌市）が行う施策の方向性（戦略編）を設定するに当たって、必要な考え方を掲載

3 ビジョン編「第4章 まちづくりの基本目標」構成イメージ

子ども・若者

↑分野の名称
.....
.....
.....
↑基本目標を設定するに当たっての考察を掲載

基本目標1 安心して子どもを産み育てられるまちにします

目指す姿
●地域の団体や企業、NPO、行政などによる様々な支援を通じて、安心して子育てができる環境が整っています

↑基本目標を具体的に表した「目指す姿」を示す
↓視覚的にイメージが湧くよう、写真や図などを掲載



↓当該分野の基本目標の達成に向け、各主体が取り組むことを例示

私たちが取り組むこと	市民・企業など	行政（札幌市）
	○..... ○..... ○.....	○..... ○..... ○.....

本日の議題（基本目標）
※次回の専門部会で、「目指す姿」や「私たちが取り組むこと」を含め更にご議論いただく予定

1 基本目標の設定の考え方

○「第2章 札幌市の現在及び将来に関する考察」及び「第3章 都市像」から、まちづくりに共通する**3つの重要概念**（以下）を定め、この概念と札幌市のSWOT分析を基に考察を行い、基本目標を導く。

①ユニバーサル（共生）

支える人と支えられる人という一方向の関係性を超え、双方向に支え合うこと（障壁や困難の解消、格差の是正、機会の均等、交流の促進、自然との共生など）

②ウェルネス（健康）

誰もが幸せを感じながら生活し、生涯現役として活躍できること（身体的な健康、精神的な健康、社会的な健康など）

③スマート（快適・先端）

先端技術等を活用し、まちの魅力・快適性を高めていること（利便性の向上、生産性の向上、人材育成、ゼロカーボンなど）

2 基本目標（案）

○3つの重要概念①②③とSWOT分析を基にした考察から、20の基本目標を導き、これを8分野に分類。重要概念に関わる内容（下線）は、各基本目標に紐づく「目指す姿」として設定する。
※各分野に①②③が必ず含まれる。なお、下線の①②③は代表的なもの1つを掲載しており、別の概念を含む場合もある。

- 人口減少の緩和に向けては、市民の希望出生率1.65に対し、合計特殊出生率が1.12と下回っていることから、社会全体で子どもと子育て家庭を支えていること①や、性別を問わず働きながら子育てができる環境が整っていること①が重要。
- また、社会全体で虐待やいじめなどの子どもの権利が侵害される事態を防いでいること①や、若者の社会的自立を支えていること②が重要。
- さらに、子どもは、一人一人が尊重され①、心身ともに健康で②、時代に即した内容・学び方の質の高い教育を受けている③ことが重要。

- 一方で、高齢化は引き続き進行し、2040年代には高齢者人口が全体の4割になる見込みであるが、人生100年時代の到来とも言われていることから、市民や企業が健康への意識を高く持っていること②や、生涯学習・学び直しの機会が充実していること②が重要。
- また、高齢者・障がいのある人は必要な支援を受けられる①とともに、建築物のバリアフリー①や、行政手続きなどにおけるICT活用③が進んでいることが重要。

- まちが成熟期を迎え、個々の価値観が多様化する中、地域コミュニティなどにおいては、年齢や性別、障がいの有無、文化、民族、国籍に対する心のバリアフリー①や、これらの違いを超えた交流①が進んでいることが重要。
- また、一人一人が地域コミュニティを育み、大切にする意識を持ち①、ライフスタイルに合わせてまちづくり活動に参加できるとともに②、担い手の育成が進んでいること③が重要。

- 地震・風水害などの自然災害の頻発や新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、日頃の備え①や情報伝達手段③が充実し、災害時には、医療②や要配慮者への支援①などが適切に提供されていることが重要。
- また、交通③や食②に関し安全が保たれているとともに、デジタル化の進展により懸念される犯罪・トラブルの発生が防止されていること③が重要。

- 基本目標1 安心して子どもを生み育てることができる、子育てに優しいまち
- 基本目標2 誰一人取り残されずに、子どもが健やかに成長し、若者が希望を持って暮らすまち
- 基本目標3 子どもたちが互いを尊重しながら学び合い、健やかに育つまち

- 基本目標4 誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち
- 基本目標5 生活しやすく住みよいまち
※現戦略ビジョンの安全・安心分野から、健康や医療・介護・福祉を含む日常生活に関する事項として独立。生涯活躍の観点を強化

- 基本目標6 互いに認め合い、支え合うまち
- 基本目標7 誰もがまちづくり活動に参加できるまち

- 基本目標8 防災・減災体制が整った災害に強いまち
- 基本目標9 日常の安全が保たれたまち
※防災・減災などの観点到特化。（健康や医療・介護・福祉を含む日常生活に関する事項は生活・暮らし分野）

子ども・若者

生活・暮らし（新設）

地域

安全・安心

ユニバーサル（共生）
ウェルネス（健康）
スマート（快適・先端）

経済

スポーツ・文化

環境

都市空間

- 基本目標10 強みを生かした産業が経済をけん引し、誰もがチャレンジできるまち
- 基本目標11 多様な主体と高い生産性が経済成長を支えるまち
- 基本目標12 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち

- 基本目標13 世界屈指のウインタースポーツシティ
- 基本目標14 誰もがスポーツを楽しめるまち
- 基本目標15 文化芸術が心の豊かさや創造性を育むまち
※冬季オリパラ招致・開催のポテンシャルという強みを生かす観点から分野名に「スポーツ」を明記

- 基本目標16 世界に冠たる環境都市
- 基本目標17 豊かなみどり・生態系と共生する都市

- 基本目標18 コンパクトで人にやさしい快適なまち
- 基本目標19 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち
- 基本目標20 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち

- 人口減少の緩和につながるもう一つの方策に、若者の道外流出の抑制と国内外から企業や人材の流入の促進があり、札幌の強みである分野や今後成長が期待される分野の産業が成長している③とともに、新しい技術やアイデアで社会課題の解決に挑戦するスタートアップが活発になっている③ことが重要。
- また、地域経済を支える中小企業や商店街などが生産年齢人口の減少を克服していること③も重要。
- さらに、女性や高齢者を含め希望する誰もが安定して働ける仕事に就いている①とともに、価値観やライフスタイルに応じて多様で柔軟な働き方ができる環境が整っていること②が重要。

- 世界からヒト・モノ・投資・情報を引き付け、共生社会や環境都市の実現、都市のリニューアル等に生かすため、札幌の強みであるウインタースポーツの大規模な国際大会が誘致・開催されていること③が重要。
- また、誰もがスポーツ（ウインタースポーツを含む）を楽しめる（する・みる・ささえる）こと②や、文化芸術を通じた学びや交流の機会が充実していること①が重要。

- 気候変動等に伴う地球規模での環境保全の動きが加速しているため、「LEED for Cities」での「プラチナ」認証という高い評価を受けた環境面の強みを生かし、脱炭素社会の実現に向け先駆的に取り組んでいること③が重要。
- また、うるおいや安らぎを与える森林、公園などを保全・創出していること②や、防災・市民交流の場として活用していくこと①が重要。

- 人口減少・少子高齢化の社会においても、持続可能な都市経営を行うには、主要な交通結節点周辺などに都市機能の集積が進んでいる③とともに、市民生活・経済活動を支える持続可能な交通ネットワークが確立されていること①が重要。
- また、都市のリニューアル時期の到来や2030年度の北海道新幹線の札幌延伸を契機として、国内外から投資を呼び込むことで、都心等で高次の都市機能の集積が進んでいる③とともに、広域的な交通ネットワークが充実していること③が重要。
- さらに、インフラや市有建築物については、必要な規模や機能を踏まえた計画的な更新や複合化が進んでいる③とともに、道路空間を滞留空間として活用するなどのアセットの利活用が進んでいる②ことが重要。

現戦略ビジョンの基本目標（全24）		第2次戦略ビジョンの基本目標（案）（全20）		各目標の考え方	対応する現目標
地域	1 共生と交流により人と人がつながるまち 2 様々な担い手が地域のまちづくり活動に参加するまち 3 多様な地域課題を解決できるまち	子ども・若者	1 安心して子どもを生き育てることができる、子育てに優しいまち 2 誰一人取り残されずに、子どもが健やかに成長し、若者が希望を持って暮らすまち 3 子どもたちが互いを尊重しながら学び合い、健やかに育つまち	1 子どもと子育て家庭を社会全体で支えていく観点を強化。 2 児童虐待の防止、医療的ケアなど、誰一人取り残さない観点、また、若者が希望を持ち、理想のライフプランが実現できる観点を強化。 3 教育に関する目標を新設。時代に即した質の高い教育を提供することや個性等を最大限伸ばす環境をつくる観点を強化し、教育格差を生み出さない観点を追加。	1 現目標9 2 現目標10、11を一本化 3 新設
			4 誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち 5 生活しやすく住みよいまち	4 誰もが元気に過ごし、生涯学習や学び直しの機会の充実により、まちづくり活動や仕事など生涯に渡って活躍できる観点を強化。 5 医療・介護体制の整備や高齢者・障がいのある人等の支援を要する方、その家族への支援、ICTを活用した行政手続きの利便性を向上する等の観点を強化。	4 現目標12 5 現目標12、14から生活・暮らしに関連する部分を独立
経済	4 強みを生かした産業が経済をけん引するまち 5 様々な連携により産業が高度化するまち 6 市民の雇用が安定的に確保されるまち 7 強みを生かし世界とつながるまち 8 地域コミュニティを支える産業を大切にす まち	ユニバーサル（共生） 生活・暮らし（安全・安心分野から独立させ分野を新設）	6 互いに認め合い、支えあうまち 7 誰もがまちづくり活動に参加できるまち	6 年齢・性別・障がいの有無・国籍・民族・文化の違いを超えて互いに認め、支え合う、心のバリアフリーを推進する観点を強化。 7 地域コミュニティを育み、大切にし、ライフスタイルに合わせてながら、誰もがまちづくり活動に参加できる観点を強化。	6 現目標1 7 現目標2、3を一本化
			8 防災・減災体制が整った災害に強いまち 9 日常の安全が保たれたまち	8 胆振東部地震の発生、新型コロナウイルスの感染拡大等の経験から、地震に加えて、風水害、感染症を防災・減災していく観点を強化。 9 消費生活や交通安全、防犯対策など、平常時の安全を守る観点を強化。	8 現目標13 9 現目標14
子ども・若者	9 安心して子どもを生き育てられるまち 10 将来を担う子どもの成長と自立を支えるまち 11 若者が社会的に自立し活躍できるまち	ウエルネス（健康）	10 強みを生かした産業が経済をけん引し、誰もがチャレンジできるまち 11 多様な主体と高い生産性が経済成長を支えるまち 12 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち	10 札幌の強みである産業を伸ばしていく観点を強化し、スタートアップ支援など、誰もがチャレンジできる観点を追加。 11 札幌の経済を支えている多様な主体（中小企業や商店街等）への経営支援等を強化し、生産性を高めていく観点を追加。 12 企業の人手不足解消を含めた安定的な雇用確保の強化、また、テレワーク等の柔軟な働き方やワーク・ライフ・バランスの推進、能力の発揮など、多様な働き方を推進する観点を強化。	10 現目標4、7を一本化 11 現目標5、8を一本化 12 現目標6
			13 世界屈指のウインタースポーツシティ 14 誰もがスポーツを楽しめるまち 15 文化芸術が心の豊かさや創造性を育むまち	13 冬季オリパラ招致・開催のポテンシャルがある世界屈指のウインタースポーツシティを目指す目標を新設。 14 子どもから高齢者、障がいのある人、観光客も含めて、誰もがスポーツを楽しめる（みる、する、ささえる）観点を強化。 15 文化芸術を誰もが楽しめることに加え、心の豊かさや創造性を育む観点を強化。	13 新設 14、15 現目標18、19、20をスポーツ、芸術文化それぞれの内容に再整理
安全・安心	12 誰もが健康的で安心して暮らせるまち 13 地域防災力が強く災害に強いまち 14 安全な日常生活が送れるまち	経済	16 世界に冠たる環境都市 17 豊かなみどり・生態系と共生する都市	16 脱炭素社会の実現や地域循環共生圏の形成など、循環型社会を構築していく観点を強化。 17 うるおいや安らぎを与える森林、公園等の保全・創出や、みどりが有する防災、市民交流の場等の価値や機能を有効活用する観点を強化。	16 現目標16、17を一本化 17 現目標15、23を一本化
			18 創造的な活動により活力あふれるまち 19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまち 20 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまち	18 主要な交通結節点周辺等に、都市機能の集積や持続可能な交通ネットワークの確立を図るなど、コンパクトシティを推進する観点を強化。 19 都心等において、国内外から民間投資を促進し、高次な都市機能の集積や交通環境の充実を図るとともに、広域交通ネットワークを充実する観点を強化。 20 施設の複合化や官民連携による施設整備を進める観点を強化、また、都市基盤を利活用する観点を追加。	18 現目標21 19 現目標22 20 現目標24
環境	15 豊かな自然と共生するまち 16 資源やエネルギーを有効活用するまち 17 市民が環境について学び行動するまち	スマート（快適・先端）	18 コンパクトで人にやさしい快適なまち 19 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち 20 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち		
			18 創造的な活動により活力あふれるまち 19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまち 20 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまち		
文化	18 創造的な活動により活力あふれるまち 19 文化芸術やスポーツの魅力によりにぎわいが生まれるまち 20 市民一人一人が魅力を再認識し発信するまち	環境	18 コンパクトで人にやさしい快適なまち 19 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち 20 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち		
			18 コンパクトで人にやさしい快適なまち 19 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち 20 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち		
都市空間	21 公共交通を中心とした集約型のまち 22 札幌の顔となる魅力と活力あふれる都心 23 都市の価値を高めるみどりを生かしたまち 24 都市基盤が適切に維持・保全されるまち	都市空間			